



農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた 全国シンポジウム

一般国民が効果を身近に感じやすい防災・減災機能「田んぼダム」の取組事例の紹介、農業遺産や地域資源を活用した広報活動など、地域の活性化について知見を深めるプログラムとなっております。また、多面的機能支払交付金に係る活動の認知度向上や理解の促進を図ります。会場には、地域資源の保全・活用に有益な技術を有する企業のブースを併設します。※継続教育（CPD）申請プログラム

開催日：令和6年11月27日（水）～11月28日（木）

会場：東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館1階
（東京メトロ永田町駅4番出口 徒歩1分）

定員：350名（Web配信併用）



第1部 令和6年11月27日 13:30開会（受付12:30～） 16:20閉会予定

- 13:40～14:40 基調講演「田んぼダムのすゝめ」
椿 一雅 氏（一般社団法人農村振興センターみつけ）
- 15:00～15:40 講演「倉敷市における「田んぼダム」の取組について」
高橋 萌 氏（岡山県倉敷市文化産業局農林水産部耕地水路課主事）
- 15:40～16:20 講演「～世界かんがい施設遺産の広報活動と立梅用水が進める農村RM0～」
山本 有紀 氏（立梅用水土地改良区）

情報交換会 令和6年11月27日 17:30開会

有料
※事前申込が必要です。

会場：東京都港区赤坂2-14-5 Daiwa赤坂ビル（MARRYGRANT AKASAKA） 会費：5,000円/人（立食形式）

第2部 令和6年11月28日 09:00開会（受付08:30～） 12:00閉会予定

- 09:00～09:40 講演「私達は「田んぼダム」を見つめて何を語っていくべきか？
～岩見沢市広域協定を通じて変化する岩見沢style～」
斎藤 貴視 氏（北海道岩見沢市農政部農業基盤整備課長）
高道 政秀 氏（北海土地改良区総務部総務課長）
- 09:40～10:20 講演「広域組織ひとつでたすけあう地域のちから・つながる未来」
久保田 修 氏（熊本県土地改良事業団体連合会常務理事）
- 10:40～12:00 パネルディスカッション
「田んぼダム活動を推進するために～普及・拡大に向けて取り組むべき課題～」

コーディネーター：

遠藤 和子 氏（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
農村工学研究部門資源利用研究領域長）

パネリスト：

椿 一雅 氏（一般社団法人農村振興センターみつけ）
高道 政秀 氏（北海土地改良区総務部総務課長）
久保田 修 氏（熊本県土地改良事業団体連合会常務理事）
村瀬 勝洋 氏（農林水産省農地資源課多面的機能支払推進室長）

参加申込み

- 一般の方 又は 地域資源の保全活動に関心がある企業関係者等の方
下記参加申込みURLにアクセスするか、QRコードを読み込んでいただき、必要事項を記入して送信願います。参加申込みURL：<https://www.tnakajin.or.jp/works/research>
- 地域資源の保全活動に携わっている方
貴都道府県多面的機能支払の推進組織（推進協議会等）に参加申込書※を提出願います。
- ふるさと・水と土指導員の方
お住まいの地域の都道府県庁に参加申込書※を提出願います。
※参加申込書は、推進組織、土地改良事業団体連合会又は都道府県庁から配布予定です。



事務連絡
令和6年7月29日

都道府県における多面的機能支払に係る推進組織 御中

全国土地改良事業団体連合会
土地改良研究所企画研究部

農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウムについての開催（案内）

平素より、多面的機能支払交付金（以下「多面支払」という。）に係る業務の推進にご尽力いただきありがとうございます。

さて、当会は、農林水産省補助事業の実施団体となり、多面支払について、今年度も全国シンポジウムを開催することとなりました。

つきましては、下記Ⅱ及びⅢにそれぞれのプログラムを記載しておりますので、都道府県における多面的機能支払に係る推進組織各位におかれましては、下記Ⅳに記載している各管内の参加者の取りまとめ等を行っていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

I 全体の概要

1. 開催日時 令和6年11月27日（水）～28日（木）
2. 開催場所 砂防会館別館
3. 全体の構成（3部構成とします）

会議名	開催日時	対象者
農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム（第1部）	令和6年11月27日（水） 13:30～16:20	①一般の方々、②地域資源の保全活動に携わっている方（多面支払の活動組織、推進組織、都道府県、市町村、土地改良区等の関係者）、③ふるさと・水と土指導員、④地域資源の保全活動に関心がある企業関係者 等
農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム（第2部）	令和6年11月28日（木） 9:00～12:00	①一般の方々、②地域資源の保全活動に携わっている方（多面支払の活動組織、推進組織、都道府県、市町村、土地改良区等の関係者）、③ふるさと・水と土指導員、④地域資源の保全活動に関心がある企業関係者 等
農村 RMO の取組の推進に向けた全国研修会（第3部）	令和6年11月28日（木） 13:30～16:30	①多面的機能支払の都道府県及び市町村における推進組織の関係者 等

II 農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム（第1部・第2部）

1. 開催方針

(1) 対象者

一般の方、地域資源の保全活動に携わっている方（多面的機能支払の活動組織や推進組織、都道府県、市町村、土地改良区等の関係者）、ふるさと・水と土指導員、地域資源の保全・活用に関心がある企業関係者、行政関係者等

(2) 趣旨

多面的機能支払の活動に関する認知度向上、理解促進や、地域資源の保全・活用の推進のため、多面的機能支払交付金の活動組織、一般国民等を対象にシンポジウムを開催します。一般国民が効果を身近に感じやすい防災・減災機能の情報収集（「田んぼダム」の取組等）を行い、その情報を広く周知します。

また、会場には地域資源の保全・活用に有益な技術を有する企業のブースを設置します。

※ 企業ブースは2日目の午前中（第2部終了）まで設置します。

2. 会場

砂防会館別館1階（利根大会議室）※Web配信も併用

3. 次第

第1部 令和6年11月27日(水) 13:30～16:20

13:30～13:35 開会（冒頭挨拶） 全国土地改良団体連合会専務理事 室本 隆司

13:35～13:40 来賓挨拶 農林水産省農村振興局整備部長 緒方 和之 氏

13:40～14:40 基調講演「田んぼダムのすゝめ」

講師：一般社団法人農村振興センターみつけ 椿 一雅 氏

概要：田んぼダムの仕組みと効果、取り組む際に理解しておきたいこと、農家へのインセンティブ、多面的機能支払を活用した田んぼダムの取組の紹介

14:40～15:00 休憩

15:00～15:40 講演①「倉敷市における「田んぼダム」の取組について」

講師：倉敷市文化産業局農林水産部耕地水路課主事 高橋 萌 氏

概要：倉敷市における「田んぼダム」導入の経緯、現状及び今後の課題の紹介

15:40～16:20 講演②「～世界かんがい施設遺産の広報活動と立梅用水が進める農村RM0～」

講師：立梅用水土地改良区 山本 有紀 氏

概要：多面的機能支払活動や世界かんがい施設遺産を利用した地域の子供たちとの係り等、立梅用水の現在の取組とこれから目指す先についての紹介

第2部 令和6年11月28日(木) 9:00~12:00

- 09:00~09:40 講演③「私達は「田んぼダム」を見つめて何を語っていくべきか？
～岩見沢市広域協定を通じて変化する岩見沢 style～」
講師：岩見沢市農政部農業基盤整備課長 斎藤 貴視 氏
北海土地改良区総務部総務課長 高道 政秀 氏
概要：岩見沢市広域協定による「田んぼダム」の対話・実証・改善・挑戦の歩みと、流域治水における「田んぼダム」の価値・思いやりの気付きについて紹介する。
- 09:40~10:20 講演④「広域組織ひとつでたすけあう地域のちから・つながる未来」
講師：熊本県土地改良事業団体連合会常務理事 久保田 修 氏
概要：平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨災害において本交付金を活用した事例や熊本県での「田んぼダム」の取組みを紹介する。また、事務負担軽減に向けた広域化推進について、熊本県内の事例を踏まえ目指すべき組織のかたちを紹介する。
- 10:20~10:40 休憩
- 10:40~12:00 パネルディスカッション
「田んぼダム活動を推進するために～普及・拡大に向けて取り組むべき課題～」
概要：田んぼダムの取組を始めたきっかけ、発生した課題、その対応策、取組によるメリット、合意形成を得るために工夫した点等、取組における先進地区のキーパーソンを招いて知見・経験を参加者と共有する。
コーディネーター：
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究部門
資源利用研究領域長 遠藤 和子 氏
パネリスト：
一般社団法人農村振興センターみつけ 椿 一雅 氏
北海土地改良区総務部総務課長 高道 政秀 氏
熊本県土地改良事業団体連合会常務理事 久保田 修 氏
農林水産省農地資源課多面的機能支払推進室長 村瀬 勝洋 氏

4. 企業ブース

事務支援ソフトの開発・提供をする企業ブースを設け、動画やパネルを用いた展示を行います。また、地域資源の保全・活用に有益な技術（ICTを活用したスマート水管理、リモコン操作による草刈ロボット、簡易的な水路補修方法等）の実演、展示を実施します。

Ⅲ 農村 RMO の取組の推進に向けた全国研修会（第 3 部）

1. 開催方針

(1) 対象者

多面的機能支払の都道府県及び市町村における推進組織の関係者

(2) 趣旨

集落維持に必要な機能を維持していくためには、多面的機能支払の活動組織の活動内容の拡大・強化が必要である。このことから、活動を推進する立場にある担当者間で意見交換を行い、相互に有益な知見の共有等を図る。

2. 会場

砂防会館別館 3 階（穂高会議室）及び Web (ZOOM)

3. 次第

13:30～13:35 開会（冒頭挨拶） 全国土地改良団体連合会 土地改良研究所長 三木 秀一

13:35～13:40 来賓挨拶 農林水産省 多面的機能支払推進室 課長補佐 松田 賢吾 氏

13:40～14:00 講演①

講師：福井県多面的機能発揮推進協議会
事務局 福井県土地改良事業団体連合会
事業部土地改良課 主幹 柘原 一男 氏
内容：活動組織の広域化による活動の発展について

14:00～14:20 講演②

講師：栃木県農地水多面的機能保全推進協議会
事務局 栃木県土地改良事業団体連合会
事業部 施設保全課 課長補佐 植木 美穂 氏
内容：ホームページを活用した活動組織の人材確保の取組について

14:20～14:40 講演③

講師：岩手県土地改良事業団体連合会
総務管理部 事業調整監 菊池 純子 氏
水土里情報推進室 室長補佐 山澤 悟 氏
内容：多面的機能支払活動へのドローン技術の活用について

※ここで Web 配信は終了。

14:40～14:50 休憩

14:50～16:30 意見交換会 6 グループ（5～6 名）程度
テーマ：「地域の困りごとを解決するための体制構築における
課題と解決に向けた支援について」

IV 参加申込みの案内と取りまとめ（依頼）

まず、下表の②及び④の方々に対し、別添の「参加申込書」及び「開催チラシ」を送付するとともに、「参加申込書」への必要事項の記載を依頼してください。

次に、参加申込みの取りまとめに当たっては、下表の②の方々の参加希望者を対象にお願いするとともに、当該「参加申込書」を令和6年10月31日（木）を目途に、巻末に付した担当までメールにて送付くださるようお願い申し上げます。

また、下表の③の方々には、別途、農林水産省農村振興局農村政策部地域振興課から都道府県における中山間ふるさと・水と土保全推進事業のご担当者様を通じて、本件案内と取りまとめ依頼がなされる予定です。

なお、下表の④の方々は、①の方々と同様、当会ホームページからの申込みになります。

対象区分	開催案内(周知)	参加取りまとめ
①一般の方々	×	×
②地域資源の保全活動に携わっている方（多面支払の活動組織、都道府県、市町村、土地改良区等の関係者）	○	○
③ふるさと・水と土指導員	×	×
④地域資源の保全・活用に関心がある企業関係者	○（可能な範囲で）	×

V その他

- ① 本シンポジウムは、多面支払の事務・組織運営等に関する研修（多面的機能支払交付金実施要領令和6年4月1日1部改正）に該当いたします。
- ② 本シンポジウムは、（公社）農業農村工学会のCPD（技術者継続教育機構）認定プログラムの申請を予定しています。他団体の登録を希望される方は、受講証明書を送付しますので、お申し出ください。
- ③ 本シンポジウムについて、本会ホームページにも記載しておりますので、下記URLよりご覧ください。

<https://www.inakajin.or.jp/works/research>

- ④ 第1部終了後、情報交換会を開催いたします。**※有料（5,000円/人）**
参加希望の方は、会場の受付でお支払いください。
 - (1) 開催日時：令和6年11月27日（水）17:30～19:30
 - (2) 会場：MARRYGRANT AKASAKA（マリーグラン赤坂）
東京都港区赤坂2-14-5 Daiwa赤坂ビル
 - (3) アクセス：シンポジウム会場（砂防会館別館）から徒歩約15分
千代田線赤坂駅2番出口から徒歩約2分
丸の内線赤坂見附駅10番出口から徒歩約7分
銀座線南北線溜池山王駅7番出口から徒歩約5分

担当 全国水土里ネット

企画研究部 TEL:03-3234-5480

高山 (s_takayama@inakajin.or.jp)

